

「令和の時代を迎えて」



理事長 水谷 博

2019年5月1日、「天地、内外ともに平和が達成される」を意味する「平成」から、「人々が美しく心寄せ合う中で文化は花咲く」という思いが込められた「令和」の時代がスタートしました。新元号の意味を心に留め、平和な日々感謝をしながら、希望に溢れた新しい時代を、職員皆で手を携えて築いていきたいと思えます。

さて、令和の時代がスタートし、遠淡海会では3つの課題に取り組んでいきます。

第1に「人材確保の課題」については、急激な少子高齢化に伴い、福祉職場においても、保育士や介護職員等の確保は深刻な課題となっています。このため、遠淡海会においては、65歳定年、70歳までは再雇用する制度となっていますが、今後は定年年齢の更なる引き上げ等により、健康で意欲のある高齢者（シニア世代）の雇用を更に進めるとともに、ご利用者の見守り、話し相手、洗濯、清掃、食事運搬、シーツ交換等、資格や経験がなくても従事することができる業務（「保育助手」や「介護助手」等）の採用を積極的に検討していきます。併せて、介護分野への外国人の雇用についても研究していきます。

第2に「働き方改革の課題」については、長時間労働の是正や年次有給休暇の確実な取得等が制度化されました。当法人においても、業務内容や人員配置の見直し等により、日常業務における超過勤務の縮減や、リフレッシュ休暇や長期勤続休暇等の充実・創設等を検討していきます。

また、保育記録や介護記録のICT化や、介護分野にける介護ロボットや移乗用リフトの導入によりノンリフティング介護（持ち上げない介護）を推進し、業務の効率化と介護職員の身体への負担の軽減に取り組んでいきます。

また、今年10月から予定される消費税率の引上げに伴う介護報酬の改定により、新たに実施される介護職員への「更なる処遇改善」（特定処遇改善加算）については、非介護職員を含め導入できるよう検討していく予定です。

なお、職員が仕事の内容や進め方を見直すとともに、各自が日々研鑽に励み、保育や介護の質を高め、ご利用者の満足度を高めることも、働き方改革の一つであり、「福祉の生産性の向上」に繋がるものと考えます。職員が仕事を通じて自分を成長させ、仕事の質を高めることが、ご利用者に愛され、ご利用者の笑顔に繋がることを忘れないで、日々の業務に努めていただきたいと思います。

第3に、「災害対策の推進」については、東南海地震や台風・風水害に備え、食料や飲料水の備蓄を更に充実させ、最低7日分を確保するよう努めていきたい。さらに、災害時の停電に対応するため、非常用照明器具を備え置くとともに、神久呂の園においては、LPガスを利用した非常用発電装置の導

入を検討していきます。

また、災害時には、施設職員やご利用者とそのご家族だけでなく、地域住民との協力や支援が不可欠であることから、施設の消防訓練や地域の防災訓練にも相互に参加するなど、日頃から地域住民との協力・連携を図ることを進めていきます。

今年度も、「遠淡海会職員の 5 つの K」
(◎健康、◎協調性、◎向上心、◎謙虚な心、◎交通安全) を念頭に置いて、職員全員でご利用者に愛される施設を目指して努めてまいります。

令和元年 7 月

